

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第1区分

【発行日】令和1年10月3日(2019.10.3)

【公表番号】特表2018-519819(P2018-519819A)

【公表日】平成30年7月26日(2018.7.26)

【年通号数】公開・登録公報2018-028

【出願番号】特願2017-566398(P2017-566398)

【国際特許分類】

C 1 2 Q 1/06 (2006.01)

G 0 1 N 33/53 (2006.01)

G 0 1 N 33/543 (2006.01)

G 0 1 N 37/00 (2006.01)

C 1 2 Q 1/6813 (2018.01)

C 1 2 Q 1/6837 (2018.01)

C 1 2 N 15/00 (2006.01)

【F I】

C 1 2 Q 1/06

G 0 1 N 33/53 M

G 0 1 N 33/53 Y

G 0 1 N 33/53 D

G 0 1 N 33/543 5 8 5

G 0 1 N 37/00 1 0 2

C 1 2 Q 1/6813 Z

C 1 2 Q 1/6837 Z

C 1 2 N 15/00 1 0 0 Z

【手続補正書】

【提出日】令和1年8月21日(2019.8.21)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

対象における胎児性アルコールスペクトラム障害(FASD)のインビトロ検出方法であって、以下の工程：

a) 前記対象由来の生体サンプル中の胎盤成長因子(PLGF)の量を測定する工程、

b) 工程a)からのPLGFの量を参照と比較する工程、および

c) 前記対象においてFASDを確定する工程

を含んでなる、方法。

【請求項2】

前記参照が健常個体におけるPLGFの量の測定値であることを特徴とする、請求項1に記載の方法。

【請求項3】

工程a)からのPLGFの量が前記参照よりも低いことが、前記対象がFASDに罹患していることを示すことを特徴とする、請求項1または2のいずれか一項に記載の方法。

【請求項4】

工程a)からのPLGFの量が前記参照よりも低いことが、対象における脳血管の無秩

序化を示すことを特徴とする、請求項 1 ~ 3 のいずれか一項に記載の方法。

【請求項 5】

前記生体サンプルが胎盤、特に、臍帯血に由来することを特徴とする、請求項 1 ~ 4 のいずれか一項に記載の方法。

【請求項 6】

P L G F の量が P L G F 核酸の量を測定することにより決定されることを特徴とする、請求項 1 ~ 5 のいずれか一項に記載の方法。

【請求項 7】

P L G F の量が、ノーザンブロット、サザンブロット、P C R、R T - P C R、定量的 R T - P C R、S A G E およびその派生法、核酸アレイ、特に、c D N A アレイ、オリゴヌクレオチドアレイおよび m R N A アレイ、組織アレイならびに R N A - S e q から選択される方法により測定されることを特徴とする、請求項 1 ~ 6 のいずれか一項に記載の方法。

【請求項 8】

P L G F の量がポリペプチドの量を測定することにより決定されることを特徴とする、請求項 1 ~ 7 のいずれか一項に記載の方法。

【請求項 9】

P L G F の量が、免疫組織学、免疫沈降、ウェスタンブロット、ドットブロット、E L I S A または E L I S P O T、E C L I A、タンパク質アレイ、抗体アレイまたは免疫組織化学と組み合わせた組織アレイ、F R E T または B R E T 技術、顕微鏡または組織化学法（特に、共焦点顕微鏡および電子顕微鏡法を含む）、1 以上の励起波長と好適な光学法の使用に基づく方法、例えば、電気化学法（ボルタンメトリーおよびアンペロメトリー技術）、原子間力顕微鏡、および無線周波数的方法、例えば、多極共鳴分光法、共焦点および非共焦点、蛍光、発光、化学発光、吸光度、反射率、透過率、および複屈折または屈折率の検出（特に、表面プラズモン共鳴、偏光解析法または共振ミラー法による）、フローサイトメトリー、放射性同位元素または磁気共鳴画像法、ポリアクリルアミドゲル電気泳動（S D S - P A G E）による分析、H P L C - 質量分析および液体クロマトグラフィー - 質量分析 / 質量分析（L C - M S / M S）から選択される方法により測定されることを特徴とする、請求項 8 に記載の方法。

【請求項 10】

P L G F の量が、免疫沈降、免疫組織学、ウェスタンブロット、ドットブロット、E L I S A または E L I S P O T、E C L I A、タンパク質アレイ、抗体アレイまたは免疫組織化学と組み合わせた組織アレイから選択される方法により決定されることを特徴とする、請求項 8 または 9 のいずれか一項に記載の方法。

【請求項 11】

P L G F の量がウェスタンブロットまたは E L I S A により決定されることを特徴とする、請求項 8 ~ 10 のいずれか一項に記載の方法。

【請求項 12】

P L G F の量が対照マーカに対して正規化されることを特徴とする、請求項 1 ~ 11 のいずれか一項に記載の方法。

【請求項 13】

前記対照マーカが、B 2 M、T F R C、Y W H A Z、R P L O、1 8 S、G U S B、U B C、T B P、G A P D H、P P I A、P O L R 2 A、A C T B、P G K 1、H P R T 1、I P O 8 および H M B S からなる群から選択される遺伝子、または前記遺伝子の産物から選択されるポリペプチドであることを特徴とする、請求項 12 に記載の方法。

专利名称(译)	<无法获取翻译>		
公开(公告)号	JP2018519819A5	公开(公告)日	2019-10-03
申请号	JP2017566398	申请日	2016-06-22
[标]申请(专利权)人(译)	鲁昂大学医学中心 法国国家健康医学研究院		
申请(专利权)人(译)	中心Osupitarie统一威赛牛油果尾鲁昂 学院为了国家德拉桑特等德拉RECHERCHE医疗 (安瑟伦)		
当前申请(专利权)人(译)	中心Osupitarie统一威赛牛油果尾鲁昂 学院为了国家德拉桑特等德拉RECHERCHE医疗 (安瑟伦)		
[标]发明人	ブルーノホセゴンザレス ステファヌマレ マチュージャンアレクサンドルルクイエ アニーラケリエール スメヤベクリ セリーヌルスウール シルビーマルグリットアルベルテジェゴ パスカルイボンヌジョセフィーヌマルコレール		
发明人	ブルーノ、ホセ、ゴンザレス ステファヌ、マレ マチュー、ジャン、アレクサンドル、ルクイエ アニー、ラケリエール スメヤ、ベクリ セリーヌ、ルスウール シルビー、マルグリット、アルベルテ、ジェゴ パスカル、イボンヌ、ジョセフィーヌ、マルコレール		
IPC分类号	C12Q1/06 G01N33/53 G01N33/543 G01N37/00 C12Q1/6813 C12Q1/6837 C12N15/00		
CPC分类号	C12Q1/6883 C12Q2600/158 G01N33/6893 G01N2333/515 G01N2800/38		
FI分类号	C12Q1/06 G01N33/53.M G01N33/53.Y G01N33/53.D G01N33/543.585 G01N37/00.102 C12Q1/6813.Z C12Q1/6837.Z C12N15/00.100.Z		
F-TERM分类号	4B063/QA01 4B063/QA13 4B063/QA19 4B063/QQ02 4B063/QQ03 4B063/QQ42 4B063/QQ52 4B063 /QR08 4B063/QR32 4B063/QR35 4B063/QS25 4B063/QS33 4B063/QS34 4B063/QX02		
优先权	2015055727 2015-06-22 FR		
其他公开文献	JP2018519819A JP6663936B2		

摘要(译)

本发明提供了一种诊断由胎儿酒精综合症引起的疾病的方法，所述方法包括测定PLGF（胎盘生长因子）。

